



(電子版)

info@jikosoren.jp

2022年 第1号 2022年1月5日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071 fax. 03-3874-4997

年間収入「減った」が85%

22春闘アンケート コロナの影響引き続き深刻

22春闘アンケートの集計結果を、コロナ関連の質問と答えを中心に紹介します。集計は、2021年12月25日現在、17地方3504枚の回収でした。前年より313枚減っています。

平均年齢は58.4歳で前年より0.1歳老けました。年齢構成は、前年とほとんど変わらず60歳以上が50%で、40歳未満は5%しかいません。

図1 回収率、平均勤続・経験・年齢

| 年 | 回収 地方 | 回収 枚数 | 回収率 | 平均勤続 (年) | 平均経験 (年) | 平均年齢 (歳) |
|-------|----------|----------|-------|-------------|-------------|-------------|
| 2019年 | 16 | 4,410 | 37.3% | 13.5 | 14.6 | 58.5 |
| 2020年 | 17 | 3,817 | 47.4% | 11.8 | 14.4 | 58.3 |
| 2021年 | 17 | 3,504 | 46.8% | 11.8 | 14.8 | 58.4 |

図2 職種別の勤続・経験・年齢の推移

| 職種 | 平均勤続 (年) | | | 平均経験 (年) | | | 平均年齢 (歳) | | |
|------|----------|------|------|----------|------|------|----------|------|------|
| | 2019 | 2020 | 2021 | 2019 | 2020 | 2021 | 2019 | 2020 | 2021 |
| ハイタク | 13.5 | 11.8 | 12.1 | 14.4 | 14.4 | 14.7 | 58.8 | 58.7 | 58.6 |
| 技職 | 12.5 | 15.2 | 13.0 | 24.9 | 25.7 | 26.8 | 47.1 | 47.2 | 48.4 |
| 自教 | 21.0 | 24.0 | 36.5 | 24.3 | 23.6 | 19.4 | 52.6 | 53.3 | 49.7 |
| バス | 10.2 | 9.1 | 10.6 | 16.5 | 12.4 | 14.6 | 53.3 | 50.4 | 55.6 |

賃上げ要求3万円弱、職場の不満は①賃金②退職金③福利厚生

賃上げ要求は平均2万9437円（前年3万745円）でした。

職場での不満では、①賃金が安い、②退職金がない、③労働時間長い、④職場なくなる不安、⑤休暇が取れない——が上位です。

定時制など非正規の労働者の場合は、正社員との格差が多くなっています。

職種ごと、地方ごとに、かなり違いがありますので、自分のところの要求をよく確かめる必要があります。

政府に対する要求では、①最賃引き上げ、②白タク合法化反対、③年金充実、④

消費税廃止、⑤景気対策——が上位でした。

コロナ関連の回答

コロナ関連の質問と回答は次のとおりです。

生活実感では、「かなり苦しい」と「やや苦しい」を合わせて77%の人が苦しいと答えています。これは前年の74%からさらに増えています。

年間収入の増減では、減ったが85%となりました。

図3 「生活実感」の変化

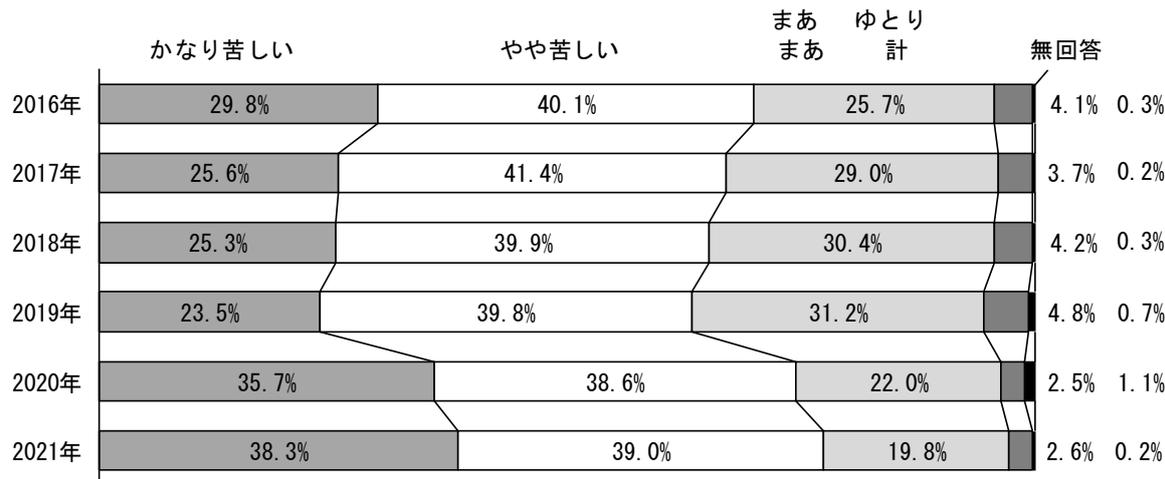


図4 「収入（年間）」の変化



休業期間については、15日以上休業した人は53%になり、休業なしと答えた人は22%でした。その際の賃金補償は、8割以上が50%で、なしは8%でした。

図5 今年の休業期間

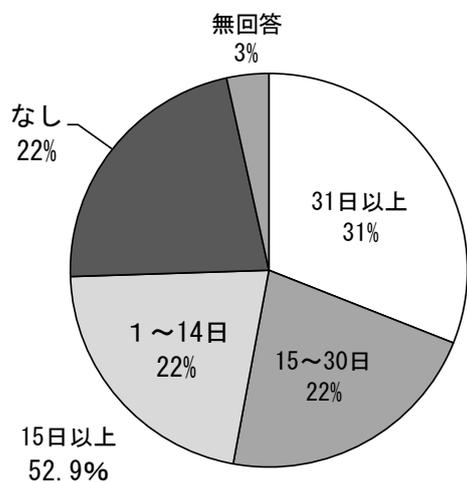
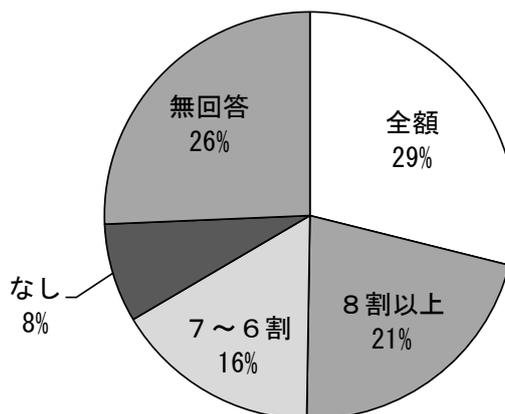


図6 休業の賃金補償



営業収入では、一番ひどいときの月の売上げが6割未満になった人が74%、4割未満が41%いました。

その時の月収は、10万円未満になった人が56%、6万円未満が19%、2万円未満という人も4%いました。

コロナ対策の要望では、①休業補償10割69%、②雇調金拡充61%、③PCR検査拡充52%、④感染防止33%、⑤衛生資材備蓄29%が上位でした。

図7 一番ひどかったときの売上減少（コロナ以前比）

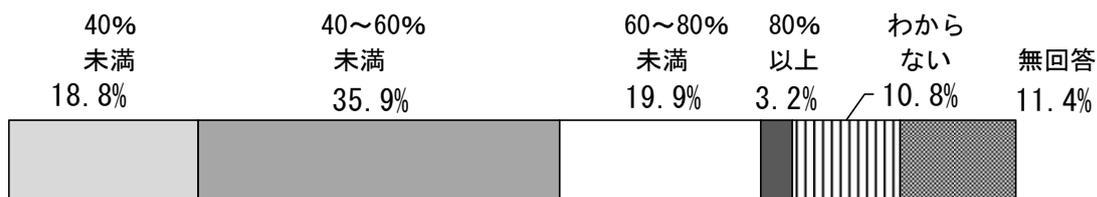
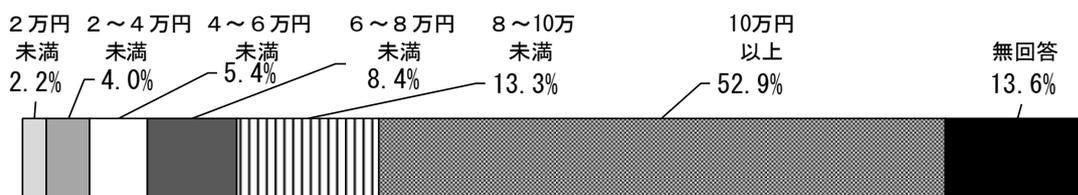


図8 今年（2021年）一番ひどかったときの月収



あなたの気持ちや政府に要求したいこと、全労連や自交総連への要望

自由記載欄では、痛切で生々しい声が寄せられました。

- 給料が安い。補償が少ない（東京）
- タクシー業界の悲惨な状況をメディアで報道して（東京）
- コロナ前と比べると給料が20～30%減っており、全国民に10万円支給がありましたが、2～3か月分の補填で終わっており、もう少し手厚い手当が欲しい（宮城）
- 関市でタクシーに乗って仕事をしているのですが思ったより売り上げが少ないような気がする（愛知）
- 現状の賃金では生活できない!! 大変苦しい状況である!!（福島）
- 働きのいい仕事に!!人並みの給料に!!（山梨）
- 賃金が安すぎる（静岡）

など、苦しい実態を訴える声が多くありました。

一時金、最低賃金アップなど賃金対策が要望の大多数

とにかく「もう一度一時金を！」という意見が大勢を占めました。

- ぜひ一律10万円の支給をお願いいたします（埼玉）
- 一時金の金額が少なすぎます。貯蓄した預金がすべてなくなりました。老後の生活が大変になります（静岡）

- もう一度全世帯に一時金を配ってほしい（静岡）
- 新型コロナ禍で一時金が補償されるのは一部の業種だけで、どの業種も危険度はあると思う。もう少し全体を見渡してほしい（大分）
- 長引く不況の中、生活の不安、将来の不安、先行き明かりの見えない状況です。一時金をもっと充実してもらえれば精神的に楽になると思います（東京）
一時金の給付対象、方法も様々な意見がみられ、
- 政府には、収入より（申告）完全給付金を実行してほしい。10万円以上～（鹿児島）
- 年収300万円未満の世帯に一律100万円を支給してほしい（東京）
- 一時金は看護師、ひとり親、失業者を中心に支給（東京）
- 低所得者への給付金（埼玉）
- 一律給付ではなく、前年度年収ごとに分けるべき（東京）
- 給付金も0才の子供に10万円というのはおかしいと思います。学生は収入がないのに労働者と同じ金額は考えられません（埼玉）
また、最低賃金アップを求める意見もありました。
- できれば最低賃金をあげてもらいたい（東京）
- 最低賃金950円希望（静岡）
- 最低賃金を早期に1000円に引き上げ、貧困と格差をなくしてほしい（山形）
- 最低賃金の補償（東京）

政府への不満が浮き彫りに

その他の賃金・労働条件に関しては、次のような声が寄せられました。

- 緊急事態宣言中、休業日は3日で15000円の手当を受けましたが、少ないです。休業日の補償だけではなく、コロナ禍に於いての營收減の補償を願いたいです（静岡）
- 新型コロナ禍で一時金が保障されるのは一部の業種だけで、どの業種も危険度はあると思う。もう少し全体を見渡してほしい（大分）
- 所得が減った運転手への賃金支援。マスク着用の義務化（東京）
- 必死になって働いてもこの低賃金では涙も出ません。まじめに働く人が報われ、きちんと生活ができるようにしてほしいです。ライドシェア合法化反対！ダイナミックプライシング粉碎！（東京）
- 感染防止を第一に、社員の健康と安全を考えるべき（埼玉）
- ウーバー配達員の交通マナーの悪さ、その運営をしているウーバーなど白タクを推奨している竹中平蔵氏の意見を取り入れている政府はもう少し国民（労働者）の声を聞いてほしい（埼玉）
また、こんな政府への意見も……
- 何を言っても、なにも変わりません（東京）
- 休業要請とか安易に発令するのは簡単だが、やられた側はたまったもんじゃない。感染拡大しているのは何も感染対策をとらず自分勝手な行動をしている個人です。この対策をせずまるで飲食店やエッセンシャルワーカーが悪者扱いされたり、人流が……などと安易に言ってほしくない（東京）